

報告・協議 1

令和6年能登半島地震の被害に伴う職員派遣状況について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和6年2月9日

広島県教育委員会教育長 平 川 理 恵

令和6年能登半島地震の被害に伴う職員派遣状況について

1 要旨・目的

文部科学省からの依頼に基づき、輪島市等の中学生が2次避難を行っている「石川県立白山青年の家」へ、夜間の生活指導を行う職員として、事務局から3名の職員派遣を実施している。

2 派遣状況

(1) 派遣場所

石川県立白山青年の家：〒920-2113 石川県白山市八幡町142

※輪島市等の3中学校の生徒（約120名）の2次避難施設

(2) 派遣スケジュール等

区 分	派遣期間	派遣状況
チーム1	1月26日（金）～1月30日（火）	3名派遣済（2名帰庁・2チームへ1名継続）
チーム2	1月30日（火）～2月3日（土）	3名派遣済（2名帰庁・3チームへ1名継続）
チーム3	2月3日（土）～2月7日（水）	3名派遣済（2名帰庁・4チームへ1名継続）
チーム4	2月7日（水）～2月11日（日）	3名派遣中
チーム5	2月11日（日）～2月15日（木）	以降、各チーム3名派遣予定 
チーム6	2月15日（木）～2月19日（月）	
チーム7	2月19日（月）～2月23日（金）	
チーム8	2月23日（金）～2月27日（火）	
チーム9	2月27日（火）～3月2日（土）	

(3) 主な業務内容

- 夜間の巡回
- 食事のサポート、就寝・起床時の補助
- 入浴時の見守り、自主学習等の見守り

(4) 派遣先の状況（派遣職員からの報告から抜粋）

生徒の様子	・被災した生徒等がいる中、表面的には明るい様子なのが印象的である。 ・自分から話し掛けてくるなど人懐っこい生徒が多くいる。 ・中学3年生は、2月上旬から高校受験が始まる。将来への不安を抱えている生徒もいる。
現地の教員の様子	・急に2次避難が決まり、準備期間もなく、集団生活がスタートしたため、先生方も日々試行錯誤しながら学習・生活支援をしている。 ・現地の教員も施設で寝泊りしている。 ・教員も被災者であり、ご自身の家族のこと、授業・生徒の生活の支援など、心身ともに疲労が蓄積している様子が伺える。
派遣職員の気づき等	・石川県の教員に安心して休んでいただき、心身の疲労やストレスを少しでも軽減し、子供たちと向き合う時間を確保してもらうことが必要である。 ・被災状況が生徒一人一人違う中で、集団生活を余儀なくされており、コミュニケーションを図りながら、「応援している」というメッセージを届け、生徒の心に寄り添うことが必要である。 ・限られた時間の中で、生徒とともに安全・安心な生活環境（居室の清掃・検温・換気等）整えていくことが必要である。

避難施設等の様子(写真)

※広島県派遣職員 撮影

○ 2次避難施設（石川県立白山青年の家）の様子



○ 生徒たちの部屋・清掃活動の様子



○ 勝浦中学校（千葉県）からの応援メッセージ

